

会 議 録

会議の名称	平成30年度第1回茨木市環境審議会
開催日時	平成30年10月29日（月） （午前・ 午後 ） 2時00分 開会 （午前・ 午後 ） 4時00分 閉会
開催場所	福祉文化会館 203号室
議 長	三輪 信哉
出席者	石山 郁慧、岩渕 善美、奥野 美鈴、久米 辰雄、天保 好博、 前迫 ゆり、増田 悦子、三上 雅弘、三輪 信哉、山田 俊一 【10人】
欠席者	玉井 昌宏、武蔵野 實 【2人】
傍聴人	1人
事務局職員	吉田産業環境部長、 神谷産業環境部次長兼資源循環課長、松山環境政策課長、 抱環境事業課長、吉岡環境政策課参事、 井澤環境政策課主幹兼政策係長、守口環境政策課推進係長、 福本環境政策課職員 【8人】
開催形態	公開
議題・報告	1 議題 （1）いばらきの環境について（平成29年度年次報告書）
配布資料	・平成30年度版いばらきの環境（平成29年度年次報告書） ・平成30年度版いばらきの環境（平成29年度年次報告書）資料編

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	1 開会
	1 委員紹介
	1 審議会会長の選任
事務局	<p>会長・副会長の選任については、本市環境審議会規則第2条により、委員の互選により定めると規定されており、会長及び副会長の互選を願いたい が、事務局としては、これまでご尽力のあった実績から、会長に三輪委員が 適任ではないかと思うが、どうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり。）</p>
事務局	<p>異議なしということで、会長には三輪委員に就任をお願いしたい。</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>1 審議会の成立の確認</p>
会長	<p>本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いしたい。</p>
事務局	<p>本日は12名の委員のうち、10名に出席いただいている。</p>
会長	<p>本日は10名の委員が出席しているので、環境審議会規則第3条第2項によ り会議は成立している。</p> <p>1 審議会副会長の選任</p>
会長	<p>続いて副会長を決めていくが、私からの提案で本日欠席しているが、これ まで本審議会、地球温暖化対策推進部会にも出席している玉井委員にお願 いしたいが、どうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり。）</p>
会長	<p>それでは、本日欠席であるが、玉井委員とともに進めていくので、よろ しくお願いしたい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1 地球温暖化対策推進部会について</p>
会長	<p>ここで、環境審議会規則第4条第1項に基づき設置している地球温暖化対策推進部会について、事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>今年度の地球温暖化対策推進部会は、8月9日に開催し、平成29年度の地球温暖化対策実行計画の進捗状況について報告し、委員の意見を踏まえて作成した進捗状況を、平成30年度版いばらきの環境の別添として掲載している。</p> <p>部会の委員について、本来であれば新たな委員の委嘱後の第1回の今回の環境審議会で指名し、部会を開催すべきであるが、申し上げたとおり、今回の審議会の資料である「いばらきの環境」に掲載するため、部会を事前に開催する必要があり、前回の任期に引き続き、5人の委員の皆さまに事務局からお願いした経過があるので、ご了解いただきたい。</p>
会長	<p>ただいま説明のあった部会は、審議会規則第4条第2項で「部会は会長が指名する委員をもって組織する」と定められている。本来であれば事前の指名が必要であるが、前回と同じ委員がいることから、暫定的に開かれている。</p> <p>本日、改めて久米委員、玉井委員、三上委員、天保委員、そして私、三輪の5名で構成するので、よろしく願いたい。</p> <p>審議会以外にも随時部会を開催することとなり、出席いただく部会員の方々については、協力をお願いしたい。</p>
	<p>1 公開・非公開の確認</p>
会長	<p>議題に入る前に、本会議の公開・非公開について確認したい。審議会等の会議の公開について、事務局の説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>本審議会の公開についてであるが、既に会議資料も含めて原則公開と決定している。非公開の事案があれば、その都度審議会で決定していく。本日は、非公開に該当する内容もなく、傍聴の申込があったので、傍聴していただいている。</p>
	<p>1 議題</p>
会長	<p>それでは議題に入る。事務局から「いばらきの環境について（平成29年度年次報告書）」について、説明をいただきたい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	「1 いばらきの環境について（平成29年度年次報告書）」 いばらきの環境に基づき、概要を説明
会長	事務局から説明があったが、環境基本計画の記載では、本審議会では年次報告書に対して助言を行うこととなっている。内容について、質問、意見等をお願いしたい。
A委員	2 ページの平成29年度の航空写真は、平成25年度と同じ色合いにできないか。
事務局	平成29年度分の写真を、25年度のような見え方になるよう様々編集した結果、最も近いものがこの図である。ご理解いただきたい。
B委員	そのコメントを入れたほうがわかりやすい。平成25年度と比べて明らかに変わっているポイントがいくつかあると思うので、変わった箇所の説明がほしい。
C委員	平成29年度が見えづらいのは解像度の問題ではないか。
会長	市全域の様子わかる図であるので、再修正してほしい。修正が効かない場合は、注釈をつけて説明することも考えてほしい。
D委員	本編の表紙に市制70周年記念のロゴのストライプを使ってみてはどうか。
会長	事務局で一考をお願いしたい。
D委員	本編で、環境基本計画で掲げている4つの基本施策のテーマカラーをそれぞれグラフの線にまで使っているが、かえって見えにくくなっている。冊子を通じて同じ色にするなど、わかりやすく表現してほしい。
C委員	取組方針の箇所のみ色づけして、その後はグラフを含め、モノクロにしても良いのではないか。 また、グラフの目盛りが気になる。縦軸のはじめの数値や、間隔が統一されていないので見えにくい。その点を統一してほしい。
会長	色について、ユニバーサルデザインも考慮する必要があるのではないか。検討をお願いしたい。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
E委員	茨木市に37年住んでいるが、エコポイントについてよくわからない。
事務局	<p>31ページにエコポイント制度について記載している。</p> <p>平成27年度に策定した環境基本計画を推進していくために、環境行動に応じてポイントを渡すことで、環境行動をする市民の皆さまを後押しする制度となっている。この制度を通じて、こういった行動が環境に良い行動になるのか市民の皆さまに周知している。</p> <p>平成28年度から始まり、今年度で3年目になる。直近では11月に開催される環境フェアで貯められる。そのほかに様々な講座への参加や省エネの取組をしても貯められる。周知は環境フェア、広報誌、チラシなどでしているが、完全に市民の皆さまに浸透していないという状況なので、さらに周知をしていきたい。</p>
E委員	ポイントはどのように貯めて、貯めたポイントはどうすればよいか。
事務局	<p>ポイントの有効期間は1年間で、配布しているカードにスタンプを押して貯めていき、一定のポイントを貯めると、希望する景品抽選への応募資格が発生する。環境政策課の窓口で応募用紙に記入していただく。抽選結果は3月末の抽選会で決める。抽選会に来なくても当選すれば景品を送付する。</p>
E委員	<p>広報にエコポイントを配布とよく記載されているが、制度そのものを知らない市民の方が多いと思うので、エコポイント制度が活用されていくシステムを考えてほしい。</p>
会長	<p>この制度を市民の方が知らないというのはもったいない。</p> <p>3ページ、4ページの環境ニュースのトピックのような形でどこかに記載してはどうか。</p>
事務局	どこかにトピックとして記載することを検討する。
A委員	<p>何箇所かグラフとその説明文が合っていないように思う。</p> <p>1つは9ページの「飼い猫等の避妊・去勢手術費補助件数」において、グラフは右下がりであるが、説明文では地域を挙げて積極的に行っていると記載されていることから、右上がりのグラフと思ってグラフを見てしまう。</p> <p>13ページの「ふれあい農園区画数」も、グラフは横ばいになっているが説明文では減少傾向にあるように捉えてしまう。説明をもう一度考えてほしい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	25ページの「集団回収量」でなぜ団体数が増えているにも関わらず回収量が減ったのか理由を記載してほしい。
D委員	同じような観点で、21ページの「低炭素建築物の認定件数」のグラフは棒グラフにして、累計結果にするべきではないか。
B委員	25ページの「資源化物の収集量」の定義は理解できるが、「集団回収量」の定義が理解できない。説明を詳しくお願いしたい。
C委員	グラフと取組について、取組の説明文とどのグラフが関連しているのか分かりにくいので、実施している取組に対して最も直結しているグラフはどれかというのが分かるよう、取組の下にグラフをつけたり、グラフに通し番号をつけたりして、取組の説明とグラフをセットにしてほしい。
F委員	23ページに記載している生ごみの処理機の補助について、どれくらい補助されるのか。 また、最近、河川のプラスチック汚染についての新聞報道があり、茨木市では、定期的に河川のごみ清掃をしているから心配ないと思われるが、発泡トレイ等のプラスチックごみは再資源化にもつながることから分別回収にするべきではないか。
事務局	生ごみ処理機については、電源を必要とするもの、電源を必要としないものの2種類を補助対象としている。2種類それぞれ、補助額は購入費用の2分の1としているが、電源が必要とするものに対しては2万円、電源を必要としないものに対しては5,000円を上限としている。 発泡トレイについては、回収しているスーパー等を案内している。レジ袋については、平成30年2月に北摂7市3町の首長とスーパー9社と協定を結び、今年6月からレジ袋の有料化を行い、発生抑制に努めている。 処理について、市が分別して再生資源にすることは現段階で考えていないが、適正処理をお願いしたい。 詳細はホームページ等で案内しているのでご覧いただきたい。
B委員	先ほどのエコポイント制度、生ごみ処理機の補助金など環境に関わる市民対象の支援制度一覧を、市民の方が分かりやすいように添付してほしい。
会長	市民の方が理解しやすいリストを作してほしいという意見は、重要なので協力をお願いしたい。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>また、環境省は世界的動向として、マイクロプラスチック問題を取り上げている。これから茨木市でも起こり得る重要課題でもあるので、今後検討してほしい。</p> <p>動物や魚にマイクロプラスチックが蓄積されていることやアメリカの大手コーヒーチェーン店で、プラスチックストローを廃止するという報道があったことで、大きな流れが出てきたと認識している。</p> <p>内部的に分別を検討したことはあるが、義務になっていないことに加え、プラスチックは溶融炉の燃料にもなることから現段階では考えていない。</p> <p>しかし、国から何らかの方針が出てくることがあれば、市民の皆さまにもご協力を仰ぎながら対応していきたい。</p>
G委員	<p>トレイは、店舗では大型トラック 2 台分の量が 1 日で回収されており、100%リサイクルにまわしている。</p>
E委員	<p>トレイは基本白色かと思うが、色とか絵柄がついたトレイをスーパーに持って行った際に、回収者に「これは入れてはいけない」と注意された。</p>
G委員	<p>確かにリサイクルできるものとできないものがあるが、回収しているセンターで分別しているので問題ない。</p>
会長	<p>世界的にプラスチック問題が浮上してきているので、国の動向次第で対応をお願いしたい。</p>
D委員	<p>3 ページの「いごちの良いい生活環境をたもつ」の写真が、単に駅で集合している写真に見えてしまうので、活動しているイメージのわく写真にしてほしい。</p> <p>16 ページの特定外来生物と安威川ダムについて、特定外来生物が発見されていないのなら、その旨を明記してほしい。</p> <p>安威川ダムは説明が古く感じる。北部整備推進課でフォトサイクリングなど様々な施策を実施している。3 行だと寂しいうえ、スペースがあるので最新の情報を記載してほしい。</p>
A委員	<p>17 ページの一番下のプラットホームについて、どういう名称で募集されているのか。PRにもなるので具体的な名称をお願いしたい。</p>
事務局	<p>プラットホームは一般に広く募集をかけているものではない。茨木市でエ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
A委員	<p>エネルギー事業者、市民団体、商工会議所とともに、平成25年度から立ち上げている。</p> <p>年度ごとに数値が違う理由は時期によって、開催数に変動があるのでグラフのとおりになっている。</p> <p>17ページの「市民1人あたりの温室効果ガス年間排出量」で基準年度がこの年だけ平成23年度になっているので、説明がほしい。</p>
事務局	<p>巻末別添の地球温暖化対策実行計画進捗状況にも出てくるが、基準年度の数字については、1992年度（平成2年度）との比較になるので、平成23年度が基準年度というのは誤っており修正する。</p>
C委員	<p>資料編の「バランスのとれた自然環境をつくる」のページで「都市とみどりの共存」に関するデータはあるが、そのほかの「自然資源の利用の促進」、「生物多様性の保全」に関するデータがないのはなぜか。情報の取捨選択が行われているのか。</p>
事務局	<p>毎年、データのあるものを資料編に記載しており、特に取捨選択はしていない。</p>
C委員	<p>年次情報以外にも、関連する資料があるならホームページのURLを記載するなど、リンク情報を記載してほしい。</p>
F委員	<p>30ページの「小学生向け環境学習プログラム」について、今の子どもは環境についてどういう内容に興味を持っているかを教えてほしい。</p>
事務局	<p>毎年更新している小学生向けの講座の一覧表から学校で選定してもらい、市から環境教育ボランティアを派遣し講座を実施している。学校周辺の生きもの探しに行く講座や、自然工作の講座が身近なところもあり人気がある。</p>
F委員	<p>講座の一覧表はどの程度普及しているか。</p>
事務局	<p>小学生向けについては毎年、校長先生が集まる会議で説明している。</p>
B委員	<p>35ページの施策評価の評価マークで晴れのち曇りのマークであると、今後悪くなるイメージがあるので、今後良くなっていくイメージの曇りのち晴れにしてほしい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>また、施策評価は総括に当たると思うが、結果のみの記載となっているので、PDCAのAにあたる今後の展開等の文言を入れてほしい。</p>
事務局	<p>これは総合計画の施策評価をしており、本来A、B、C、Dと評価しているが、市民の皆さまに分かりやすいように天気マークにしている。</p> <p>また、今後の展開について、加筆できることがあればしていきたい。</p>
F委員	<p>市民の方は30～40ページの冊子を読まないと思うので、環境基本計画のような概要版を作ってほしい。</p>
H委員	<p>23ページから29ページにかけてのごみに関する減量や分別について、3Rに則って記載されている。これは環境の専門家は理解できるが、市民の方にとっては難しいので、フローチャートのような図があれば市民にとっても理解しやすくなるのでお願いしたい。</p> <p>本編25ページの「資源化物回収量」と「集団回収量」は、資料編の52ページの③と54ページの⑤にそれぞれ対応していると思うが、総量は決まっているので、片方が増加するともう片方は減少するということが起きると思うので、目指すべき方向性がどちらも上向きになるのは厳しいと思われる。</p>
会長	<p>本編25ページは再検討ということでお願いしたい。ただこれはごみ置き場にあるものを勝手に持ち出されていることも影響しているのではないかと考えられるがどうか。</p>
事務局	<p>各ごみ置き場から収集している資源物と自治会や子ども会での集団回収で再資源化した量を確認すると、全体的に減少している。市で収集した分も減少し、集団回収の量も減少しているのでグラフのような状況になっている。</p>
会長	<p>一般的に新聞購読の減少により、紙媒体の資源物発生が減っていることが考えられる。</p> <p>古布に関しても、古着をネットで販売しているという話もある。どんどん需要が変わってきているのかもしれない。</p>
B委員	<p>今の事務局のコメントがあれば25ページを理解できるが、この冊子の説明だとわかりにくいので説明の加筆をお願いしたい。</p>
G委員	<p>個人的に10ページの「動物愛護の推進」について、以前、団体に店舗の敷</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>地内にいた十数匹の野良猫のカットをお願いしたが、その猫が近隣の公園に棲みついており、愛護団体の方が猫の保護の観点から、えさを与えている。その結果、また猫が集まりだしたが、この政策のカットした後の処理はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>すぐに回答できる案件ではないので、担当課に確認後、回答させていただきます。</p>
H委員	<p>別添の4ページで単位が100万円当たりになったり、一人あたりになっているが、どういう経緯でこの単位表記になったのかを知りたい。</p> <p>例えば、運輸部門（自動車貨物）は100万円あたりで、運輸部門（自動車旅客）は一人あたりになっているので、使っている資料や考え方について説明が必要ではないか。</p>
B委員	<p>茨木市は産業が活発であるイメージがあり、運輸部門（自動車貨物）のところは多くの産業が来て商業が活発になっている中、CO2排出量、エネルギーの消費量が減少しているグラフという認識でいる。グラフに対するコメントがないとわからないので、注釈を入れてほしい。</p>
事務局	<p>この部門別排出量については、求め方がそれぞれ違うため、単位が異なっている。</p> <p>補足説明については加筆したい。</p>
H委員	<p>別添の5ページで温室効果ガスとエネルギー使用量が増加しているとあるが、電力の排出係数が減っている現状で、本当に温室効果ガス排出量は増加したのか。</p>
事務局	<p>排出係数は下がっているが、環境衛生センターにおいて発電量が減少し電力会社から買う電気が増えたことで、電力使用量が増加したことが原因と考えている。</p>
会長	<p>この件はこの場で回答することは難しいので、今回反映するかどうかは別で吟味する必要がある。</p>
C委員	<p>1ページのPDCAサイクルの全体像のうち、第5次茨木市総合計画実施計画は重要な位置づけなので、()ではなく「 」をつけて大きく記載してほしい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>CHECKの部分のプラットフォームについて、説明の注釈を入れてほしい。</p> <p>年次報告書の公表部分も、「いばらきの環境」と追記してはどうか。</p> <p>修正する。</p>
会長	<p>では、このあたりで閉会でよいか。何かある場合、事務局に報告をお願いしたい。</p> <p>33～34ページにかけては事務局と相談してまとめ、委員の皆さまに確認後成案としていきたいが、よいか。</p>
B委員	<p>33ページの環境基本計画の進行管理に、SDGsを入れてほしい。</p> <p>国のホームページで環境と言えばSDGsとなっている。茨木の環境基本計画はSDGsに近いものになっている。これを市民に普及するためにも記載してほしい。</p>
会長	<p>SDGsは世界的な潮流になっているが、この環境審議会では初めて出てきた。十分に議論重ねて紹介することは難しいが、簡単な文章を入れていく。</p>
	<p>1 閉会</p>